



第2回 楽しいつどい

～ 男声の歌声を楽しむ ～

11月6日（月）関西大学グリークラブの学生さんをお迎えして、楽しいつどいを行いました。

プログラム

1. 出演者の紹介・・・ 関西大学グリークラブより9名
トップテナー・セカンドテナー・バリトン・バス
2. 「関西大学幼稚園子どもものうた」・・・ 1度目は子どもたち
2度目はグリークラブの方
3. 「森のくまさん」・・・ グリークラブの方
4. 「関西大学学歌」・・・ グリークラブの方
5. 子どもたちの歌・・・ 年少児「まつぼっくり」
年中児「あき」
年長児「一羽のからす」
6. 「かえるの合唱」・・・ 1度目はグリークラブの方
2度目は子どもたちと輪唱
7. 「ちいさい秋みつけた」・・・ グリークラブの方
8. 「ソーランしぶき」・・・ 1度目はグリークラブの方
2度目は年長児と一緒に
9. 「まつぼっくり」・・・ みんなで

グリークラブの皆さんにきれいな歌声を聞かせて頂く前に、子どもたちにはまず、4声パートがあることを知らせました。【知らせる】と言っても、言葉で説明するのではなく、普段の声で自己紹介してもらった後に、それぞれのパートの声で「こんにちは」を聞かせてもらいました。そして4声合わせた「こんにちは～」の声には、一瞬息を呑み、次の瞬間「わぁ～」「きれい！」と思わず拍手が起こり、興味津々の様子で集いが始まりました。

プログラム2の「関西大学幼稚園 子どものうた」では自分たちが歌った後、お兄さん方の歌声を“何とも言えない表情”で聞いていた子どもたちでした。どんな表情だったか、お伝えしたいのですがいい言葉が見つかりません。引き込まれるように聞いていましたし、真剣な、少し驚いたような表情でもありました。大きくなった自分を想像しながら、(なんて言うと私の勝手な想像が過ぎるかもしれませんが) 聞いているうちに心地よさを感じているようにも思えました。併設校の利点を活かして、【子どもたちのための】楽しいつどいになるように、聞くうた・歌ううた、どれも身近なものでプログラムを組めることができて本当によかった！と合唱を聞きながら思いました。

プログラム4の「関西大学学歌」は難しい歌詞ではありますが、関大幼稚園の歌があるようにお兄さんたちの大学にも歌がある、ということに興味を持って聞いていました。ハーモニーの美しさに、歌い終わった瞬間拍手の前に、「きれい～」という声が上がりました。聞きながら笑顔になる年長児が多かったのですが、その訳は、「『かんさいだいがく、かんさいだいがく』と何回もうたってた。」からだそうです。ほんとによく聞いていました。

子どもたちの各学年のうたでは、お兄さん方から感想を聞かせてもらって、嬉しそうな年少・年中児、得意げな表情の年長児でした。

プログラム6の「かえるの合唱」では、お兄さん方との輪唱が楽しそうでした。2度目には、自分たちの声と追いかけて歌うお兄さん方の声ははっきりと聞き取れた様子の年中・年長児は、歌いながら笑顔を見せていました。年少児はお兄さんと一緒になってしまう子もいて、それもまた笑顔でした。

集い終了後お部屋に戻った子どもたちは、早速「こんにちは～」の真似から始まって、一緒に歌うことの喜びを伝える声に溢れていたようです。